# 第3講　古代ギリシャ思想①

## 1　ギリシャ自然哲学（前6世紀～）

### ①古代ギリシャ世界と神話（前8世紀～）

A　**ギリシャ神話**⇒オリンポス十二神など

紀元前8世紀に登場した**ポリス〔都市国家〕**市民の間に語り継がれ，神話を基にした叙事詩も生まれた。

あ　**ホメロス**の叙事詩『**イリアス**』『**オデュッセイア**』

い　**ヘシオドス**の『**神統記**（しんとうき）』『仕事と日々』

B　アイスキュロス，ソフォクレス，エウリピデスが三大悲劇作家

### ②ギリシャ自然哲学（前6世紀～）

**閑暇〔スコレー〕**を手に入れたポリス市民は，**観想〔テオリア〕**の態度を身につけ，それが**哲学〔フィロソフィア・愛知〕**の基礎となった。彼らは，宇宙を含む世界のすべてを**神話〔ミュトス〕**で説明する**神話的世界観を否定**し，人間のもつ言葉と**理性〔ロゴス〕**に基づき，自然や社会を冷静に見つめ，合理的にとらえようとした（＝**合理的世界観**）。

そうした流れを受けて，自然のあらゆる現象を生み出す根源（こんげん）には，ある構成元素（＝**万物（ばんぶつ）の根源〔アルケー〕**）が変わることなく存在するという考えが生まれ，これが**ギリシャ自然哲学**の出発点となった。

| おもな**自然哲学者**と「万物の根源〔アルケー〕」 |
|---|

A　**タレス「水」**

B　**アナクシマンドロス「無限なるもの〔ト＝アペイロン〕」**

C　**アナクシメネス「空気」**

D　**ピタゴラス「数」**

E　**ヘラクレイトス「火」**

F　**パルメニデス「有るもの」**

G　**エンペドクレス「四元素〔土・水・火・風〕」**

H　**デモクリトス「原子〔アトム〕」**

# ２　ソフィスト（前５世紀～）

## ①自然〔ピュシス〕から人為〔ノモス〕へ

紀元前５世紀半ば以降，貴族制から**民主制**へ移行した都市国家**アテネ**では，家柄や財産に関わりなく，弁論の能力や教養があれば，市民は誰でも政治上の有力者になることができた。そういった風潮の中で，人々の学問や思索の対象は，**自然〔ピュシス〕**から，法・制度・習慣・道徳など人間がつくった**人為**（じんい）**〔ノモス〕**へと移った。

## ②ソフィスト〔職業教師〕

**ソフィスト**と呼ばれる知識人は，謝礼を取る**職業教師**として青年たちに一般教養や法律･政治を教え，とくに民会や法廷での**弁論術〔レトリケー〕**を重視した。

※しかし，弁論術は，論争に勝ち自説を認めさせることを目的としていたので，物事の真偽（しんぎ）を重視せず，**詭弁**（きべん）を用いるソフィストも多かった。

A　**プロタゴラス**（前500年頃～前430年頃）

万物の根源〔アルケー〕を自然物に求めず，あらゆる物事の真偽の判断基準は個々の人間の主観的な考え方・感じ方であるとし，**「人間は万物の尺度である」**と言った。

※絶対的真理を否定し，**相対的真理**を提唱。

B　**ゴルギアス**（前483年～前376年）

「何も存在しない,存在しても認識され得ない,認識しても伝達され得ない」と言い，絶対的真理を否定。

---

# ３　ギリシャ三大哲学者（前５世紀～前４世紀）

## ①ソクラテス（前 470 頃～前 399 年）

アケメネス朝とのペルシャ戦争に勝利したのち，民主制の全盛期も過ぎて堕落しつつあったアテネは，続くスパルタとのペロポネソス戦争では苦戦の連続だった。その頃に現れた**ソクラテス**は，ソフィストたちの相対的真理に対し，人として生きていくうえでの普遍的な**絶対的真理**を探究した。

A　人物

アテネ生まれ。父は石工（いしく），母は**助産師**（じょさんし）〔**産婆**（さんば）〕。アテネ全盛期に前半生を過ごす。スパルタに敗れ，混乱・衰退期を迎えた**アテネにおいて，ポリス市民としての道徳の回復をめざした**。70 歳頃，危険な教えで青年を中心に**人心を惑**（まど）**わしたとして市民の反感を買い，刑死**した。

B　「ただ生きるのではなく善（よ）く生きよ」

ソクラテスは，すべての事物には**徳〔アレテー〕**（＝卓越性）があるとし，人間の徳は，**魂〔プシュケー〕**を善くし，**善く生きる**ことであると考えた。

※人間は**善美**（ぜんび）**の事柄**について知れば必ず善い行いをし（＝**知行合一**（ちこうごういつ）），魂の徳を知れば徳を備え（＝**知徳合一**），善く生きて徳を備えれば幸福になる（＝**福徳一致**）と説いた。

C　思想の出発点

友人がデルフォイのアポロン神殿で「ソクラテス以上の知者はいない」という神託（しんたく）を受け，確認のために訪れた神殿で**「汝**（なんじ）**自身を知れ」**という言葉を目にする。ソクラテスは，自分が善美の事柄について知らないことを自覚していた（＝**無知の知**）ので，これを思想の出発点とした。

※人間は**知への愛〔フィロソフィア〕（＝哲学）**をもつべきだと考えた。

D　**問答法〔助産術・産婆術〕**

相手に自分の考えについて述べさせ，対話を通じて考えの不十分さや誤りに気付かせる方法。相手の無知を暴露（ばくろ）する皮肉〔エイロネイア〕な方法であったため，反感をもつ市民も多かった。

E　処刑

「国家の神々を認めず新たな神霊〔ダイモーン〕を崇（あが）め，青年たちを堕落（だらく）させた」という理由で死刑を宣告された。脱獄を勧める者もいたが，ソクラテスは**「悪法もまた法なり」**と述べ，たとえ判決が不当なものであるにせよ法を破ることは不正であり，不正を犯すことは「善く生きる」ことに反すると考え，判決に従った。

## ②プラトン（前 427 ～前 347 年）

ソクラテスの弟子**プラトン**は，世界のあらゆる事物は，**永遠不滅の本質・真の実在**である**イデア**を原型としているとした。彼によれば，**感覚**（視覚・聴覚（ちょうかく）・嗅覚（きゅうかく）など）を手掛かりにして，**理性**だけがイデアを捉（とら）えることができる。

プラトンは，世界は感覚で捉える**現象**（げんしょう）**界**と理性で捉える**イデア界**に分かれる，という二元論的世界観をもち，イデア界こそが真の世界で，現象界はその影にすぎないとした（＝**洞窟の比喩**（ひゆ））。さらに彼は，人間の魂は，生まれる以前はイデア界にいたとし，今いる現象界においても，すでに知っているイデアを**想起**（そうき）〔**アナムネーシス**〕することができるとした。また，不完全な人間の魂が完全なイデアに憧れ，それを求める愛を**エロース**と呼んだ。

Ａ　人物

アテネの名門貴族の家に生まれる。当初は政治家志望であったが，20 歳頃からソクラテスに学ぶ。28 歳の時，師の刑死に衝撃を受け，堕落した政治に絶望して各地を遊学した後，40 歳でアテネ郊外に**学園アカデメイア**を開く。60 歳代でシチリア島に政治顧問として招かれ，**哲学者が統治する理想国家を実現しようとしたが失敗**。失意のうちにアテネに帰り，80 歳で亡くなるまで大量の著書を書き続けた。主著『**ソクラテスの弁明**』『**クリトン**』『**パイドン**』『**饗宴**（きょうえん）』『**国家**』。

Ｂ　理想のイデア界を現実の現象界に実現するために…

あ　**魂の三部分**

人間の魂は，魂を指導する**理性**と，理性に従い意欲的に行動する**気概**〔**意志**〕と，本能的な**欲望**の３つからなるとした。

い　**四元徳**（しげんとく）

理性は最高のイデア，**イデアの中のイデア**とされる**善のイデア**を認識する**知恵の徳**をもち，気概は理性に従う意志である**勇気の徳**をもち，欲望はそれを制御する**節制の徳**をもっていると考えた。さらにその３つが相互に**調和**すれば**正義の徳**が実現するとした。

C　理想の国家を追及

プラトンは, 魂の三部分と四元徳を**国家論**に応用し, 理想の国家を追及した。

あ　**国家の三階級**

個人の集合体である国家には，**統治者階級（王）・防衛者階級（軍人）・生産者階級（庶民）**という三階級があり，王は理性の魂を，軍人は気概の魂を，庶民は欲望の魂を強くもつとした。

い　**理想国家**

人間はそれぞれの資質（理性・気概・欲望の魂）にふさわしい階級に属すべきと考え，三階級がそれぞれの徳（知恵・勇気・節制の徳）を発揮し，相互に**調和**を保てば，**国家全体として正義の徳が実現する**と説いた。

う　**哲人政治**

統治者階級（王）には，理性の魂を最も強くもつ**哲学者**がなるべき，とした。

## ③アリストテレス（前 384 ～前 322 年）

プラトンの弟子**アリストテレス**は，哲学のみならず倫理学・論理学・政治学・生物学・天文学などを広く研究し，**「万学の祖」**とされる。彼は，プラトンのイデア論や国家論のような「理想主義」ではなく,「現実主義」的な思想を展開した。

A　人物

マケドニア王の侍医の家に生まれる。17 歳でアテネに行き，プラトンの学園アカデメイアで 20 年間学ぶ。のち各地を遍歴し，40 歳頃から７年間マケドニアで王子（のちのアレクサンドロス大王）の教師団に加わり，やがて支配下のアテネ郊外に**学園リュケイオン**を創設した。大王が亡くなると，アテネでマケドニアに反抗する動きが起き，国外に亡命して翌年死去した。主著『**形而上学〔メタフィジカ〕**』『**ニコマコス倫理学**』『政治学』。

※リュケイオンでは，屋根付き回廊〔ペリパトス〕をぶらぶら歩きながら議論したので,「逍遙〔ペリパトス〕学派」と呼ばれた。

B　真の実在＝イデアではなく個々の事物

プラトンは，理性でしかとらえられないイデアを真の実在とし，この世界の事物はその影にすぎないとした。一方, アリストテレスは, イデアは個々の事物の素材である**質料〔ヒュレー〕**に**形相〔エイドス〕**として内在しており，個々の事物は真の実在といってよいとした。

※たとえば机の場合，木材が質料で，形や機能が形相。

C　「万物は自らの形相に向かう」

アリストテレスは，事物が変化・成長することは，質料に潜む可能性（＝**可能態〔デュナミス〕**）が, 現実化された状態（＝**現実態〔エネルゲイア〕**）になることだとした。

※種子が桜の木へ, タマゴがニワトリへと成長するように，人間もまた…。

D　徳〔アレテー〕の解釈→現実主義

アリストテレスは，人間の生活を①享楽的生活（＝快楽を求める）②政治的生活（＝名声を求める）③蓄財的生活（＝富を求める）④**観想〔テオリア〕的生活**（＝真理を求める）に分類し，観想的生活を送ることこそが人間の幸福であり，**最高善**であるとした。

※観想的生活を送るには徳を備えなければならないと考え，徳を**知性的徳**と**倫理的徳〔習性的徳〕**に分類した。

E　**中庸**（ちゅうよう）**〔メソテース〕**

倫理的徳〔習性的徳〕を身につけるには，感情や欲望の過剰と不足という両極端を避けることが必要。

※中庸は「２つの中間＝平均」という意味ではなく，具体的場面に応じた適度さのこと。無謀（過剰）―勇気（中庸）―臆病（不足）など。

F　人間の定義

アリストテレスは，人は本来，国家や社会を離れて生きることはできないと考え，**「人間はポリス的〔社会的〕動物である」**と言った。

G　アリストテレスの国家論→現実主義

あ　**正義**

時や場所を超えて成り立つ**全体的正義**と，特定の場面においてのみ成り立つ**部分的正義**。

※部分的正義はさらに**配分的正義**（＝能力や業績に応じた配分）と**調整的〔矯正**（きょうせい）**的〕正義**（＝均等化）に分かれる。

い　**友愛〔フィリア〕**

互いが自分への好意を認識している関係。一方的でなく**相互的なもの**。

※友愛の動機は有用性・快楽・卓越性の３つがあり，卓越性に基づく深い親愛こそが真の友愛。

う　政治形態論→現実主義

権力者の数により①**君主制**②**貴族制**③**共和制**があるが，それぞれが堕落すると①**独裁〔僭主**（せんしゅ）**〕政治**②**寡頭**（かとう）**政治**③**衆愚**（しゅうぐ）**政治**になってしまう，とした。

※アリストテレスは君主制を理想としつつ，現実的には共和制が実現可能な政治形態と考えた。

---

〈***Note***〉

# 第３講　倫理確認テスト

1　叙事詩『イリアス』『オデュッセイア』でトロイ戦争や英雄について描いた人物とは？

①　ホメロス　②　ヘシオドス　③　アイスキュロス　④　ソフォクレス

2　「理性」を古代ギリシャ語で何というか？

①　ポリス　②　スコレー　③　テオリア　④　ロゴス

3　万物の根源〔アルケー〕を「数」とした自然哲学者とは？　なお，この人物は音楽と数を重視し，宗教と学術が一体となった教団を組織し，弾圧された。

①　タレス　②　ピタゴラス　③　ヘラクレイトス　④　デモクリトス

4　「人間は万物の尺度である」と言い，相対的真理を唱えたソフィストとは？

①　アナクシマンドロス　②　パルメニデス

③　プロタゴラス　④　ゴルギアス

5　ソクラテスの行った，相手に考えを述べさせ，対話を通じて考えの不十分さに気付かせる手法を何というか？

①　通過儀礼　②　役割実験　③　合理化　④　問答法

6　ソクラテスの著書について，正しいものを一つ選べ。

①　『ソクラテスの弁明』　②　『クリトン』

③　『ニコマコス倫理学』　④　著書なし

7　プラトンの開いた教育機関とは？

①　学園アカデメイア　②　学園リュケイオン

③　エピクロスの園　④　なし

8　プラトンのいう「魂の三部分」としてふさわしくないものはどれか？

①　理性　②　気概〔意志〕　③　欲望　④　正義

9　「万学の祖」と呼ばれるギリシャの哲学者とは？

①　ヘラクレイトス　　②　ソクラテス

③　プラトン　　④　アリストテレス

10　アリストテレスが時・場所を超えて成り立つと考えた正義は，次のうちどれか？

①　全体的正義　　②　部分的正義

③　配分的正義　　④　調整的〔矯正的〕正義

解答

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ① | 2 | ④ | 3 | ② | 4 | ③ | 5 | ④ |
| 6 | ④ | 7 | ① | 8 | ④ | 9 | ④ | 10 | ① |